



報道関係者各位

2019年11月8日

東京メトロとエースが連携 キャリーバッグのご使用マナー向上に関する 合同啓発を始めます。 ～ 11月12日（火）より順次展開します～

東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：山村明義、以下「東京メトロ」）とバッグメーカー エース株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：森下宏明、以下「エース」）は連携し、キャリーバッグのご使用マナー向上に関する啓発活動に取り組みます。

近年、駅構内や列車乗降時におけるキャリーバッグによるトラブルが増加傾向にあることから、東京メトロとエースは合同でマナー啓発活動を実施します。東京メトロの各駅で啓発ポスターを掲出するほか、エースのコーポレートサイト、直営店及びエース製キャリーバッグを取り扱う鞆売り場にて啓発ポスターを掲出することで、正しいキャリーバッグのご使用マナーについて広く啓発していきます。

東京メトロは、これからも首都東京の都市機能を支える交通事業者として、マナー啓発活動を積極的に実施し、より安全で快適な駅構内・車内空間の創出を目指していきます。

エースは、マナー啓発はキャリーバッグの製造を行う上での社会的責務と捉え、今後も積極的に実施していき、よりよい社会の実現に向け貢献していきます。また、安全で快適な移動をサポートする商品を今後も創出していきたいと考えます。

東京メトロとエース株式会社からのお願い

キャリーバッグの安全なご使用について

Safety Precautions for Use of Travel Bags 行李箱安全使用須知 캐리어 가방의 안전한 사용법

① エスカレーター利用中
When Using the Escalator

手すりとキャリーバッグのハンドルを握り、大型のバッグ等をご使用の際はエレベーターもあわせてご利用ください。

Make sure to securely hold onto both the railing of the escalator and the handle of your bag. If you are using a larger bag, consider using the elevator instead.
最新電梯手すり、車椅子等利用時、鉄道職員等が利用時、乗降時等、必ず手すりもあわせてご利用ください。

キャリーバッグは自分の前または後ろにお載せください。
Make sure to securely place the bag either on the step directly in front of you or behind you.
最新電梯乗降時必ず手すりもあわせてご利用ください。

② 乗車中
While Riding the Train

キャリーバッグから手を離さず、ストッパー機能などをご利用ください。

Make sure not to let go of the handle, and use your bag's stopper, if applicable.
最新電梯乗降時必ず手すりもあわせてご利用ください。

③ 歩行中
While Walking

身体に近づけてご使用ください。また急な立ち止まりや方向転換はおめください。

Make sure to keep your bag close to your person and try not to make any sudden stops or turns.
最新電梯乗降時必ず手すりもあわせてご利用ください。



◆◇東京メトロとエースによる、キャリーバッグご使用マナー向上啓発活動について



■実施日

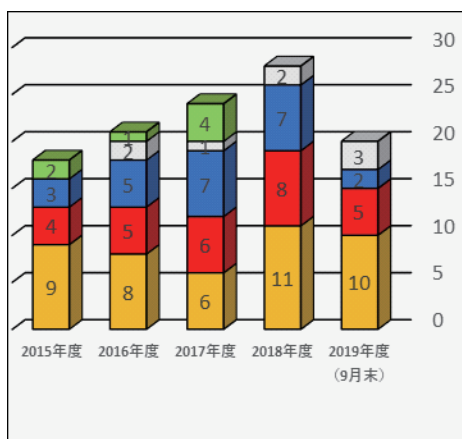
2019年11月12日（火）より順次

■活動内容

- ・東京メトロ各駅での啓発ポスターの掲出
- ・東京メトロの一部駅のデジタルサイネージにて啓発ポスターの掲出
- ・エースのコーポレートサイト、直営店及び全国のエース製キャリーバッグ取り扱い靴売り場での啓発ポスターの掲出
- ・二社合同で東京メトロ駅構内にてキャリーバッグご使用マナー向上に関する呼びかけ

◆◇東京メトロにおける、キャリーバッグによるトラブルと手荷物に関するご意見

東京メトロの調査（図1）によると、キャリーバッグによるトラブルの件数は増加傾向にあります。また発生したトラブルで最も多いのはエスカレーターご利用時で、次いで、歩行時のトラブルでした。中でもエスカレーターご利用時に発生した事故は、他のお客様の怪我につながるケースもみられます。また、一般社団法人日本民営鉄道協会が行った2018年度「駅と電車内の迷惑行為ランキング」のアンケート（図2）によると、『荷物の持ち方・置き方』が1位となり、内訳として「背中や肩のリュックサック・ショルダーバッグ等」、「座席に置かれた荷物」、「床（足もと）に置かれた荷物」、「傘（濡れ傘・先端を向けられる等）」、「乱暴なキャリーバッグの運び方」等が項目として挙がっているなど、とりわけお客様の手荷物に関するマナーについて社会の関心が大きくなっているといえます。



（図1）キャリーバッグにより発生したトラブル
（東京メトロ調べ、2015年度～2019年度9月末）

- エスカレーターご利用時のトラブル
例) キャリーバッグから手を離し落下させた為、他のお客様にぶつかる
- 歩行時のトラブル
例) お客様が使用していたキャリーバッグが他のお客様と接触し転倒
- 列車乗降時のトラブル
例) 列車から降りられるお客様が、ご乗車のお客様のキャリーバッグにぶつかり転倒
- 物損事故
例) キャリーバッグが駅施設に接触
- その他
例) お客様同士の車内でのキャリーバッグのご使用法をめぐるトラブル

順位	(昨年)	迷惑行為項目
1位	(3位)	荷物の持ち方・置き方
2位	(1位)	騒々しい会話・はしゃぎまわり
3位	(2位)	座席の座り方
4位	(5位)	乗降時のマナー
5位	(6位)	ヘッドホンからの音もれ

（図2）2018年度「駅と電車内の迷惑行為ランキング」
（一般社団法人日本民営鉄道協会調べ）



◆◇東京メトロにおける、キャリーバッグご使用マナー・安全性向上の取り組み

①キャリーバッグや手回り品マナーポスターの掲出（2010年～）

東京メトロでは2010年から多言語により各駅に車内手荷物やキャリーバッグのご使用マナーに関するポスターを掲出し、継続的にお客様にご使用マナー向上の啓発を行っています。



(2012年度啓発ポスター)



(2018年度啓発ポスター)



②鉄道各社と連携したマナーの呼びかけ

全てのお客様に安全、安心して駅をご利用頂けるようにエスカレーター「みんなの手すりにつかまろう」キャンペーンを実施し、鉄道各社と共同で、キャリーバッグのご使用法も含むご利用マナー向上の呼びかけを行いました。

◆◇エースにおける、キャリーバッグご使用マナー・安全性向上の取り組み

①キャリーバッグの持ち方マナーマーク（2010年～）

キャリーバッグと人との接触トラブルの増加を受け、エースでは2010年より製品カタログにマナーマークを掲載。



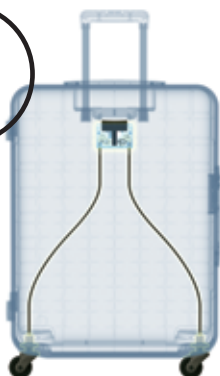
マナーマーク

②「プロテカ」ブランドでのキャスターストッパー機能標準装備化

キャリーバッグの不用意な走行を防ぐ目的として、2010年にキャスターのストッパー機能を開発。エースが展開する日本製トラベルバッグブランド「プロテカ」では、2019年よりキャスターのストッパー機能「MAGIC STOP™（マジックストップ）」の標準装備化を推し進め、移動時の安全性向上に向け取り組んでいます。

プロテカのキャスターストッパーは、独自の高い基準に沿って作られます。

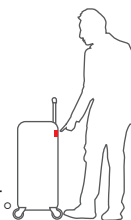
特許技術



MAGIC STOP

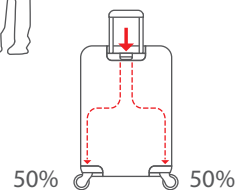
①手元で簡単に操作できる

手元のスイッチを押すだけで簡単にオン/オフの操作が可能です。上面についているのでかむ必要がありません。



②両方のキャスターに均等にロックがかかる安全設計

スイッチを押すとワイヤーを伝って両方のキャスターに均等に力が加わり、スーツケースをしっかりと固定できます。



③坂道でもしっかり止まる安心構造

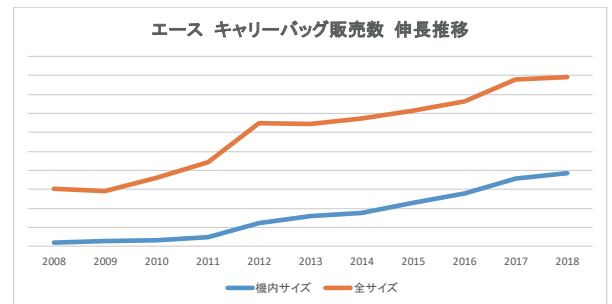
様々な路面状況を想定し、バリアフリー基準の1/12勾配を上回る1/8勾配にも対応します。傾斜のある場所でもしっかり「止まる」構造です。





◆◇参考資料 1：エース キャリーバッグ販売数について

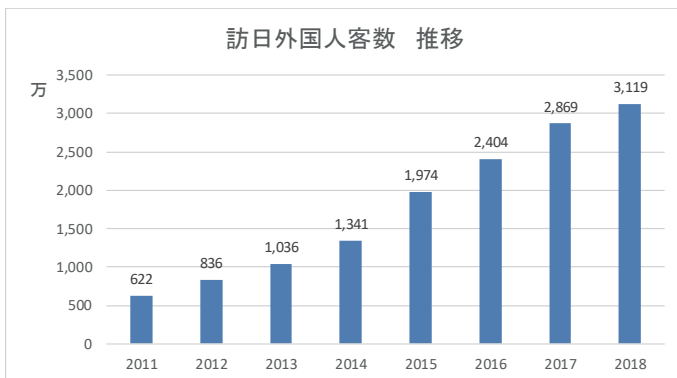
エースのハードタイプのキャリーバッグ販売台数（図3）は伸長傾向にあり、2008年と比較すると約3倍に拡大しています。なかでも機内持込が可能な小型サイズに関しては、2012年のLCC就航以降で大きく販売台数が拡大。LCC就航前の2011年と2018年度を比較すると7倍以上販売台数が増加していることから、旅行期間に関わらず、キャリーバッグ利用者は拡大傾向であると言えます。



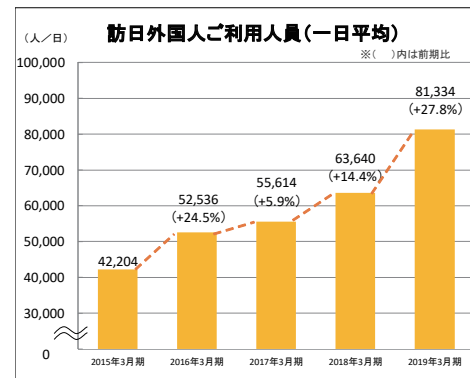
(図3) エース キャリーバッグ（ハードタイプ）販売台数推移
(機内持ち込みサイズ、全サイズ)

◆◇参考資料 2：訪日外国人客数 推移

訪日外国人客数（図4）は年々増加傾向にあり、2018年には初の3,000万人を突破しました。東京メトロをご利用される訪日外国人のお客様も1日平均8万人を越えています。（図5、2019年3月期）2020年には4,000万人の目標を観光庁で掲げている事からも、キャリーバッグを携行して移動する訪日外国人客数は今後も増大すると思われま



(図4) 訪日外国人客数 推移
(出典：日本政府観光局 (JNTO) 発表統計より)



(図5) 東京メトロ訪日外国人ご利用人員（一日平均）